



すずしろ

～開拓・発展・完成～

10月 第6号

令和6年11月7日

開進第四中学校だより

校長 田邊克宣

『 合唱コンクールを終えて 』

秋も深まり、気が付けばもう霜月に入っています。まさに光陰矢の如し。つい先日までの熱中症の心配からは解放され、朝晩は肌寒いほどの気候ですが、それでも日中は20℃を越える日もあり、健康管理に気を遣う日々です。マイコプラズマの感染状況が思わしくない中、校内で当たり前のように手指消毒をする生徒の姿を見ると、健康管理の意識が浸透していることを感じます。

さて、10月26日（土）に本校体育館で開催いたしました「合唱コンクール」では、生徒たちが主体的に、一生懸命に取り組み、本番では各学年、各学級がそれぞれのカラーに染め上げた素敵な合唱を披露してくれました。

皆が真剣に取り組み、甲乙つけがたいレベルにまで高められた合唱は、当然、審査を難しいものにします。コンクールであるから賞の付与をせねばならず、誇張でなく断腸の思いで採点をした結果を受けて、悔しいと涙する姿を見るにつけ、こちらも胸が苦しくなります。救いは、生徒たちの感想です。結果はともかく、「皆で協力できた」「指揮者や伴奏者の頑張りが分かった」「実行委員の苦勞に報いるために自分も頑張った」「本番では最高の歌声を出せた」等々、個々人の取り組み方は違っても、全員で”合唱”を創り上げるという活動を通して、心を一つにする気持ちよさを体感し、やり遂げたという達成感を得られたのではないのでしょうか。恒例の吹奏楽部発表も、令和6年度バージョンとして工夫を凝らし、明るく力強い演奏で全校の一体感を醸成してくれました。こうして手にいれた心の宝物は、それまでの労をねぎらって余りある大切な心の糧として、生徒一人一人の胸の内に大切にしまっておいてほしいと願います。

運動会に続いて、今年度合唱コンクールも、たくさんのご来賓、保護者の方々にご参観いただき、成功裏に終えられたことを、深く感謝申し上げます。

2週間後には第3回定期考査を控えるなか、第3学年では進路面談を行いました。3年生のみならず、中学生の本分である学習に、真剣に臨む姿勢について、ご家庭でも今一度お話しくださる機会を設けていただければ幸いです。

今年もあと2か月、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

〔 合唱コンクール 保護者参観人数 〕

3年生 253名 / 2年生 205名 / 1年生 187名

☆本年度5月より、谷口総康主任教諭と額賀將教諭の育児休業代替教員として勤務にあたった一場芳朗教諭が、10月31日をもって退任となりました。授業を始め、副担任として行事や部活動でも力を尽くされました。

11月1日より、次の勤務校への異動となります。